

IT Topics & News

「企業IT動向調査2020」

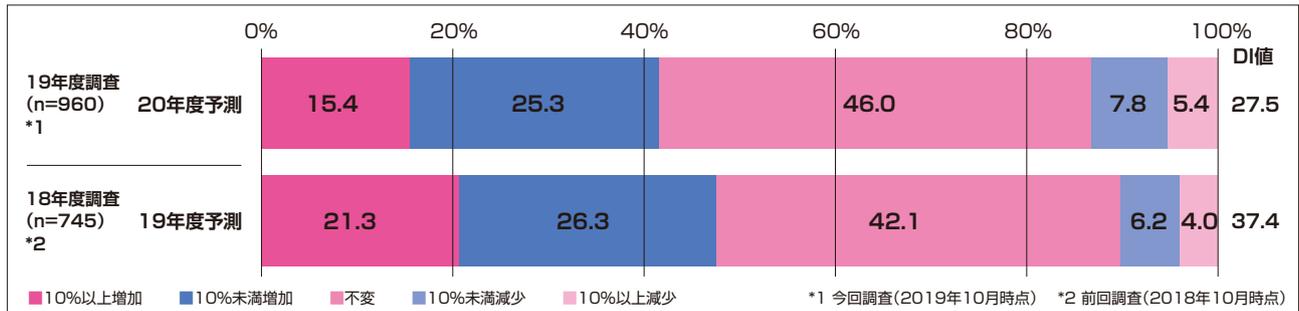
IT予算の速報値を発表【JUAS】

1月21日、一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（略称=JUAS）は、「企業IT動向調査2020」（2019年度調査）における、IT予算に関する速報値を発表した。

「企業IT動向調査」は、ITユーザー企業のIT動向を把握することを目的に、1994年度から継続して実施している調査。調査対象は、東証上場企業とそれに準じる企業の4,000社で、そのうち、「IT予算」については960社から回答を得た。本調査における「IT予算」とは、当該年度に支出予定の金額（キャッシュベース）を基本とし、金銭的な支出を伴わない費用（償却費等）は除外した。

2020年度予測のユーザー各社のIT投資の伸びは、2019年度予測（2018年度調査）を下回るものの、依然として高い増加傾向は維持される見込みである。2020年度IT予算の増減予測（2019年度比）の調査結果（図1）では、全

（図1）2020年度IT予算の増減（前年度比）



出典：一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会

体の40.7%が「増加」、46.0%が「不変」、13.2%が「減少」と回答している。IT予算を「増やす」割合から「減らす」割合を差し引いて求めたDI（ディフュージョン・インデックス）値は27.5ポイントとなり、過去10年で最高水準だった2019年度予測（37.4ポイント）を約10ポイント下回った。しかし、2018年度予測では27ポイントであったことから、IT予算の増加傾向は維持されると見られる。ビジネスにおけるデジタル変革は、引き続き各企業の重要な経営課題となっており、ITが担う役割は大きくなり続けている。米中貿易摩擦や消費税増税などによる景気減速や企業業績に対する先行き不透明感が増しているものの、IT予算の増加傾向は引き続き維持されることが予想される。

売上高別にIT予算の増減を集計した結果をみると、DI値が最も高いのは、1000億円以上1兆円未満の企業で37.4ポイント。「増加」が50%以上となっており、IT投資

Hitachi Social Innovation is

POWERING GOOD

世界を輝かせよう。

HITACHI

Inspire the Next

世界はいま、さまざまな課題に直面しています。どうすれば、輝く未来への道を切り拓くことができるのでしょうか。

日立は、世界中の人々が望む“良いこと”すなわち“Good”を実現するために、多様なパートナーと全力を注ぎたいと考えています。

すべての力を、より良い未来のために。

<https://social-innovation.hitachi/>

へ意欲の高さがうかがえる。DI値が最も低いのは売上高100億円未満の企業で21.0ポイントであり、2019年度予測（35.8ポイント）から14.8ポイント低下しており、企業業績の先行きにいち早く反応していると推測される。

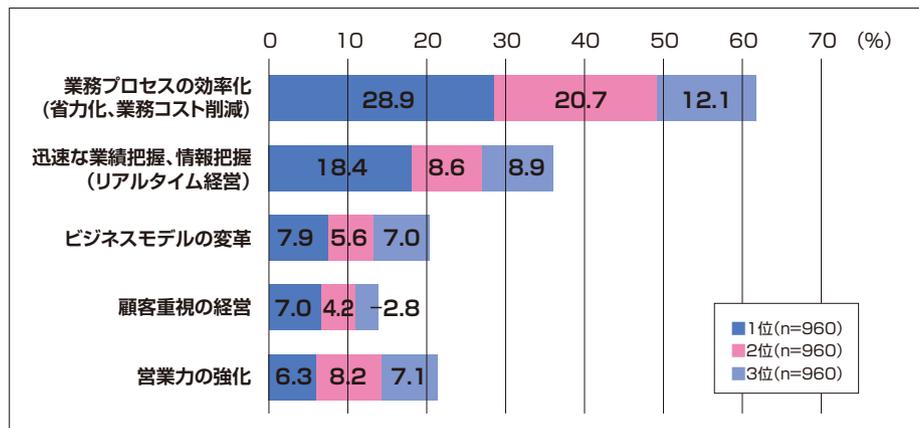
2020年度IT予算の増減を業種グループ別に集計した結果では、IT投資への意欲は、業種により大きな差が出た。とりわけDI値が高かったのが、建築・土木グループの40.6ポイント。唯一2019年度予測（33.9ポイント）より増加した。続いて、素材製造グループ（32.4ポイント）や、社会インフラグループ（33.8ポイント）、サービスグループ（31.0ポイント）も30ポイントを超えており、2019年度と同水準となっている。一方で、2019年度はDI値が最も高かった金融グループ（19年度51.4ポイント）が0.0ポイントと大幅に減少したが、2019年度の反動減と見られる。

「IT投資で解決したい中期的な経営課題」については、JUASがあらかじめ用意した15個の選択肢の中から優先度の高いものを1位から3位まで回答してもらっている。そのうち、上位5位を図に示した（図2）。最も優先度が高い経営課題は「業務プロセスの効率化（省力化、業務コスト削減）」で、他を大

きく引き離している。前回調査でもこの項目はトップで人手不足解消や働き方改革への取り組みの重要性が継続し、RPA等による業務効率化に取り組んでいることがうかがえる。今回調査で順位を上げた項目が、「ビジネスモデルの変革」（4位→3位）、「顧客重視の経営」（9位→4位）で、AI、IoTをはじめとする新技術の活用によりビジネスモデルを変革し、顧客に新たな価値を提供したいとの狙いがみとれる。

これらの結果はいずれも「速報値」として公開されたものだが、正式なデータや分析結果については、ダイジェスト版と詳細な分析結果を掲載したダウンロード版が、JUASのWebサイト（<https://juas.or.jp/>）にて、2020年4月に公開予定となっている。

（図2）IT投資で解決したい中期的な経営課題（1位～3位）・1位の降順（5位まで）

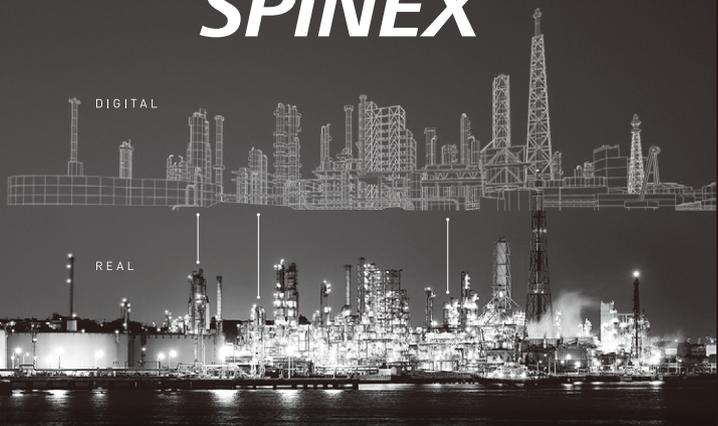


出典：一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会

TOSHIBA

東芝のIoT

SPINEX™



DIGITAL

REAL

それは、IoTのある風景。

IoTの力で、産業をささえる骨格(脊椎)になりたい。
そんな想いから、東芝のIoT「SPINEX (スパインエックス)」は生まれました。
たとえば、現実世界をサイバー空間上に再現した「デジタルツイン」で「見える化」や最適制御を行うこと。
東芝は、IoTと先進の技術で、人とモノがつながる新しい明日を目指します。

東芝の「人を想うIoT」 | 社会インフラ事業での経験とIoT技術を生かし、関連事例・実績

エネルギー

製造

交通

物流

ビル

流通

東芝デジタルソリューションズ株式会社
お問い合わせ INS-info-iot@ml.toshiba.co.jp 

IT Topics & News

「情報セキュリティ10大脅威 2020」を決定 「内部不正による情報漏えい」が2位に【IPA】

独立行政法人情報処理推進機構（略称=IPA）は、2019年に発生した社会的に影響が大きかった情報セキュリティ上のトピックを「情報セキュリティ10大脅威 2020」として1月29日に発表した。

情報セキュリティ分野の研究者、企業の実務担当者など約140名のメンバーからなる「10大脅威選考会」が、「個人」と「組織」向けの候補について審議・投票を行い決定される。

今回の発表では、「組織」の1位は昨年と同様で「標的型攻撃による機密情報の窃取」に、「個人」は、初めてラ

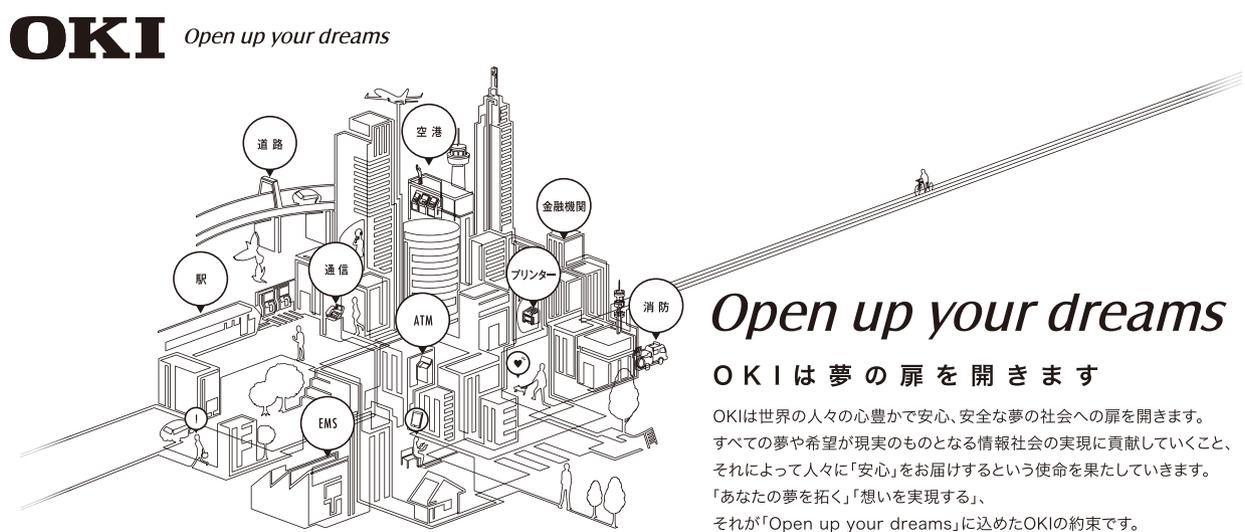
ンクインした「スマホ決済の不正利用」が1位となった。

今回の結果で、「組織」にランクインした脅威を見ると、「内部不正による情報漏えい」が昨年の5位から2位に上昇している。情報機器リユース業において、廃棄予定のハードディスクドライブ（以後、HDD）が社員により不正に持ち出され、ネットオークション等で転売された事件は記憶に新しい。そして、HDD内に多くの個人情報等が残っていたことが発覚し、大きな社会問題となった。重要情報の格納に使用したHDDは、物理的に破壊、または専用のソフトウェアで適切にデータを消去した後、廃棄される必要がある。一方で、確実な廃棄の確認方法の難しさも指摘された。内部不正は、組織の社会的

（図1）「情報セキュリティ10大脅威2020」

NEW：初めてランクインした脅威

昨年順位	個人	順位	組織	昨年順位
NEW	スマホ決済の不正利用	1位	標的型攻撃による機密情報の窃取	1位
2位	フィッシングによる個人情報の詐取	2位	内部不正による情報漏えい	5位
1位	クレジットカード情報の不正利用	3位	ビジネスメール詐欺による金銭被害	2位
7位	インターネットバンキングの不正利用	4位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	4位
4位	メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	5位	ランサムウェアによる被害	3位
3位	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	6位	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止	16位
5位	ネット上の誹謗・中傷・デマ	7位	不注意による情報漏えい(規則は遵守)	10位
8位	インターネット上のサービスへの不正ログイン	8位	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	7位
6位	偽警告によるインターネット詐欺	9位	IoT機器の不正利用	8位
12位	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	10位	サービス妨害攻撃によるサービスの停止	6位



OKI *Open up your dreams*

Open up your dreams

OKIは夢の扉を開きます

OKIは世界の人々の心豊かで安心、安全な夢の社会への扉を開きます。すべての夢や希望が現実のものとなる情報社会の実現に貢献していくこと、それによって人々に「安心」をお届けするという使命を果たしていきます。「あなたの夢を拓く」「想いを実現する」、それが「Open up your dreams」に込めたOKIの約束です。

OKI www.oki.com/jp/

信用の失墜、損害賠償による経済的損失等により、組織に多大な損害を与えるものである。予防するためには、経営者が積極的に関与して重要情報の管理及び保護を徹底するとともに、従業員への教育等により情報モラルを向上させる必要がある。

復活ランクインとしては2013年の10大脅威を最後に、6年間圏外だった「予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止」が、「組織」6位に浮上。2019年は、複数の大規模自然災害や大手クラウドベンダーの人為的ミスによる長時間のサービス停止が発生した。こうした大規模システム障害が事業に与えた影響の大きさから、BCP（事業継続計画）を見直すきっかけを与えた年といえる。

また去年は、スマホ決済サービスへの各社の相次ぐ新規参入とキャッシュレスの利便性により、急速に利用機会が広がりを見せた。しかし、一部のスマホ決済サービスでは、決済方法の不備により、利用者が金銭被害に遭う事案が発生した。こういった背景もあり、「スマホ決

済の不正利用」が初登場で「個人」の1位となったが、新たなサービスを利用する際には、提供されているセキュリティ機能の利用とともに、不正利用されていないか決済情報や利用明細を確認することが求められる。

いずれにしても、「情報セキュリティ10大脅威 2020」は、順位の高低に関わらず、自身または組織が置かれている立場や環境を考慮して優先度をつけ、適切かつ継続的な対応を取る必要があるだろう。

世の中には「情報セキュリティ10大脅威」へランクインした脅威以外にも多数の脅威が存在する。とはいえ、これらが利用する「攻撃の糸口」は似通っており、脆弱性を悪用する、ウイルスを使う、ソーシャルエンジニアリングを使う等の古くからある基本的な手口が使われている。「ソフトウェアの更新」「セキュリティソフトの利用」などといった「情報セキュリティ対策の基本」（図2）を意識して、継続的に対策を行うことで、被害に遭う可能性を低減できるだろう。

(図2) 情報セキュリティ対策の基本

攻撃の糸口	情報セキュリティ対策の基本	目的
ソフトウェアの脆弱性	ソフトウェアの更新	脆弱性を解消し攻撃によるリスクを低減する
ウイルス感染	セキュリティソフトの利用	攻撃をブロックする
パスワード窃取	パスワードの管理・認証の強化	パスワード窃取によるリスクを低減する
設定不備	設定の見直し	誤った設定を攻撃に利用されないようにする
誘導（農にはめる）	脅威・手口を知る	手口から重要視するべき対策を理解する





三菱電機は、環境に配慮した豊かな社会を構築するために「エコチェンジ」を推進しています。

幅広い事業領域と優れた製品力、世界最先端の環境技術により、低炭素社会・循環型社会の実現にチャレンジ。

これからも、「より良い明日」のために挑戦し続けます。

ITソリューションで、エコチェンジ。



エコチェンジ

検索

この広告についてのお問い合わせは、adv.webmaster@rl.MitsubishiElectric.co.jpまたはFAX.03-3218-2321(宣伝担当)まで。

三菱電機株式会社